

観点別 内容と特色

観点別内容と特色

検討の観点	特色	具体的な教材
内容		
1. 教育基本法と照らし合わせて適切な内容か	学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の要となる特別の教科としての位置付けから、教育基本法第2条第1号から第5号までの全てを網羅し、その理念を全うすることを大前提として編集されています。	■全教材
◎幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと(1号)	●夢や希望をもって、よりよい生き方を模索できる題材を通して、生徒各自の課題意識や、多面的・多角的な思索に資する教材としました。 ●「よりよく生きようとする」という見方・考え方を深める学習のための教材を選定し、「考え、議論し、探求する」道徳の授業に資する教科書を目指しました。	■「自分の思い」について考える教材 ●「日常生活のモヤモヤ」(1年P16) ●「オレは最強だ!」(1年P22) ●「壁の向こうに何がある」(2年P8) ●「全日本柔道チームTOKYO2020への挑戦」(2年P24) ●「加藤セチと佐藤昌介〜決まっていることはない〜」(3年P20) ●「栄冠は君に輝く」(3年P28) ●哲学教材「自由ってなあに」(1年P34)、2年「幸福ってなあに」(2年P34)、「愛ってなあに」(3年P44) ほか
◎個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと(2号)	●キャリア形成や規範意識の観点から、今の自分、これからの自分のできること、やりたい自分、そこに向かおうとする思いについて話し合える教材を配置しました。	■「自分のできること」「どんな自分になりたいか」について考える教材 ●「バーソナリティー」(1年P18) ●「中央市場は働いている」(1年P96) ●「エンジェルは優しい味」(1年P100) ●「私たちのキャリアプランニング」(2年P20) ●「主権者である私」(2年P88) ●「ワン・ステップ」(2年P96) ●「総菜屋のおばちゃんと私」(3年P100) ●「人はなぜ仕事をするのか」(3年P106) ほか
◎正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと(3号)	●相手を思う気持ちとはどういうものか、その思いについて自分がどう考えるかについて、教材を通して友達と話し合える教材を用意しました。 ●集団や社会の一員としてのよりよいあり方やその姿について、考えを深められる教材を配置しました。	■「他の人たちとの関わり」「他の人たちとの"ありがたい姿"」について考える教材 ●「朝の地下鉄」(1年P42) ●「賢者の贈り物」(1年P44) ●「傘の下」(1年P74) ●「言葉の向こうに」(2年P60) ●「マナーとルール」(2年P66) ●「ライフ・ロール」(2年P84) ●「百円のご恩」(3年P50) ●「彼と私のありがとう」(3年P75) ●「『わたしたち』としてのウェルビーイングをつくりあう」(3年P92) ほか
◎生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと(4号)	●かけがえのない命を大切に考えるとともに、今の生活環境の中に生きている私たちであることを深く理解し、そのよりよいあり方を考えようとする心と態度を育てる教材を用意しました。 ●生徒を取り巻く「福祉」「医療」「自然」などの生活環境から題材を採り上げています。 →参照：本書P5／編集の趣旨と特色P30～31	■「命・環境への思い」「命・環境との関わり」について考える教材 ●「どうにかできない?〜ベットの殺処分〜」(1年P132) ●「ガラスの地球を救え」(1年P136) ●「仁子、あきらめない!」(1年P144) ●「命をつなげ『ドクターヘリ』」(2年P132) ●「語りかける目」(2年P136) ●「富士山の、消えた『白い川』」(2年P140) ●「不思議な光景」(3年P150) ●「くちなしの花と、南十字星が指した道〜花田ミキ〜」(3年P156) ほか →参照：本書P5／編集の趣旨と特色P30～31

検討の観点	特色	具体的な教材
	◎伝統と文化を尊重し、それらを受け継いで育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと(5号)	●郷土の伝統や我が国の文化について、それを受け継いだり創り出したりする人の姿についての見方を広げます。 ●他国の文化や伝統を知り、それを尊重するとともに国際社会における共生と平和の発展に寄与する心を育てる題材を採り上げています。 →参照：編集の趣旨と特色P30～31
2. 学習指導要領に照らし合わせて適切な内容か	◎道徳の価値理解のための配慮がなされているか	●教材は学習指導要領に示された4つの視点及び内容項目22項目をすべて配列しています。 ●各教材のタイトルには、学習指導要領に示された4つの視点及び内容項目22項目のどれに該当するかを、色と絵柄で区別したマークをつけています。 →参照：編集の趣旨と特色P18～19
	◎自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めるための配慮がなされているか	●各学年巻頭のガイダンスページでは、道徳の授業で何を学ぶのかをわかりやすく提示しています。とくに1年時のガイダンスは、道徳の授業では「みんなそれぞれ違っているのが当たり前」という前提に立ち、「みんなにとってよりよいあり方」を考え合う時間であるとしています。 ●教材学習後の発問「考えよう」「深めよう」によって、自分の考えを深めたり、他の生徒の考えを聞くことにより、物事を多面的・多角的に捉えることができるように工夫されています。 ●人間としてどう生きるかということの探求していくための「哲学」的視点を与える教材を各学年に設置しています。 →参照：編集の趣旨と特色P8
	◎道徳性(=人間としてよりよく生きようとする人格的特性)を構成する道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度を育てるための配慮がなされているか	●「よりよく生きようとする」という考え方を深める学習のための教材を選定しています。 ●生徒自身が「よりよい自分」を探求するために、「ウェルビーイング(Wellbeing)カード」を巻末付録につけ、授業で活用できるよう工夫しています。 ●「ウェルビーイングカード」が活用できる教材を各学年に複数揃え、その対象教材に「ウェルビーイングカード」活用マークをつけています。 →参照：編集の趣旨と特色P10～17
	◎生徒が自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりできる配慮がなされているか	●各学年の巻頭に「クラスのみんなと『道徳授業』を創り出そう」というガイダンスページを設け、前学年の振り返りと、今後一年間で目指す目標や課題について考える時間をもてるよう工夫しています。 →参照：編集の趣旨と特色P22～23 ●自己肯定感を高めることができる教材を積極的に取り上げています。
		■「伝統文化の継承」について考える教材 ●「分け火」(1年P108) ●「マダム・パタフライ〜森英恵〜」(1年P112) ●「日本のアニメの力」(2年P115) ●「伝統のケーキ」(2年P119) ●「茶道の心に学ぶ」(3年P58) ●「筑前琵琶修復師〜ドリアーノ・スリス〜」(3年P128) ■「国際理解・国際貢献」について考える教材 →参照：●編集の趣旨と特色P30～31
		■全学年全教材 ●「目次」(1～3年巻頭) ●全教材タイトル →参照：編集の趣旨と特色P18～19
		●全学年ガイダンスページ ●ワーク教材を除き、すべての教材で発問「考えよう」「深めよう」を設置 ■「哲学」シリーズ教材 ●「自由ってなあに」(1年P36) ●「幸福ってなあに」(2年P34) ●「愛ってなあに」(3年P44) →参照：編集の趣旨と特色P8
		■「よりよく生きようとする」という考え方を深めるための教材を選定しています。 ●「仏の銀蔵」(1年P78) ●「ネパールのビール」(1年P148) ●「夢桜〜荻野吟子〜」(2年P30) ●「心を育んだ遠友夜学校〜新渡戸稲造の作った学び舎〜」(2年P80) ●「五つの誓い」(3年P54) ほか
		■「ウェルビーイングカード」の活用に適した教材 ●「稲村さんの苦悩」(1年P8) など1年・18教材 ●「ナイスジャンプ」(2年P40) など2年・10教材 ●「放っておけばいい〜淳の住む町〜」(3年P80) など3年・13教材
		●全学年ガイダンスページ →参照：編集の趣旨と特色P22～23 ■「自己肯定感を高めること」に適した教材 ●「いつも一緒に」(1年P58) ●「黄色いお弁当箱」(2年P44) ●「二人の剣士」(2年P148) ●「嵐の後に」(3年P61) ほか

検討の観点	特色	具体的な教材
◎生徒の発達段階に対する配慮がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ●中学生の発達段階を意識し、学年を追って教材の発問内容を深化させていく配慮をしています。 ●「キャリア形成」に関する教材では、発達段階に考慮し、1年時「自己理解」、2年時「自己啓発」、3年時「自己実現」をテーマとした教材を主に採用しています。 <p>→参照：本書P5／編集の趣旨と特色P30～31</p> <ul style="list-style-type: none"> ●三年間を通して、学校生活を舞台とした友情、異性への関心を描くシリーズ教材を掲載しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ワーク教材を除き、すべての教材で発問「考えよう」「深めよう」を設置 ■「自己理解」「自己啓発」「自己実現」をテーマとした教材 →参照：本書P5／編集の趣旨と特色P30～31 ■「リョウとマキ」シリーズ <ul style="list-style-type: none"> ●「リョウとマキ～First Love～」(1年P52) ●「リョウとマキ～Triamgle Zone～」(2年P51) ●「リョウとマキ～Stand by me～」(3年P66)
3. 現代的な課題の取り扱いがなされているか	いじめの防止	<ul style="list-style-type: none"> ●全学年にわたり、「いじめ」の問題に真正面から向き合う直接教材と、「いじめ」につながりかねない日常のあり方について注目する間接教材の二種類を用意しています。「いじめを起こさない・許さない」断固たる心情を育てるにふさわしい編集となっています。 <p>→参照：編集の趣旨と特色P27</p>
人権・福祉・ジェンダー	<ul style="list-style-type: none"> ●「人権とは何か」について考えたり、認識を深めるための教材を掲載しています。 <p>→参照：編集の趣旨と特色P28</p> <ul style="list-style-type: none"> ●男女不平等の近代史を背景に、その問題に立ち向かいながら活躍してきた女性を取り上げています。 ●「ダイバーシティ」や「LGBT」について学ぶ教材を掲載しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ■人権をテーマとした教材 →参照：編集の趣旨と特P28 <ul style="list-style-type: none"> ●「未来を創るために～マララ・ユスフザイ『国連スピーチ』」(1年P84) ●「仁子、あきらめない!」(1年P144) ●「“生きづらさ”と向き合う」(2年P76) ●「『普通』の生活の向こう側」(2年P126) ●「豊かなれ阿賀の流れよ」(3年P88) ■近代の女性の生き方を扱った教材 <ul style="list-style-type: none"> ●「夢桜～荻野吟子～」(2年P30) ●「加藤セチと佐藤昌介～決まっていることはない～」(3年P20) ●「くちなしの花と、南十字星が指した道～花田ミキ～」(3年P156) ■ダイバーシティを扱った教材 <ul style="list-style-type: none"> ●「“生きづらさ”と向き合う」(2年P76) ●「新しい家族のカタチ」(3年P114)
情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> ●情報機器を媒体として相手に接したり、情報を活用したりすることの道徳的課題について深く考える教材を、各学年に用意しています。正しい考えや構え方を育てる工夫を行っています。 <p>→参照：編集の趣旨と特色P26</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■情報モラルをテーマとした教材 →参照：パンフレットP26 <ul style="list-style-type: none"> ●「日常生活のモヤモヤ」(1年P16) ●「情報の光と闇～ファクトチェック～」(1年P32) ●「AIさんは僕の助っ人」(2年P12) ●「一通のメッセージから始まる物語」(2年P57) ●「言葉の向こうに」(2年P60) ●「SNSでの誹謗中傷」(3年P84)

検討の観点	特色	具体的な教材
キャリア形成	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリア教育の視点から、これからの生き方を考える教材を多数掲載しています。発達段階を考慮し、1年では「自己理解」、2年では「自己啓発」、3年では「自己実現」をテーマとした教材を主に採用しています。 <p>→参照：編集の趣旨と特色P30～31</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■キャリア形成をテーマとした教材 →参照：編集の趣旨と特色P30～31 <ul style="list-style-type: none"> ●「バーソナリティー」(1年P18) ●「中央市場は働いている」(1年P96) ●「エンジェルは優しい味」(1年P100) ●「私たちのキャリアプランニング」(2年P20) ●「ライフ・ロール」(2年P84) ●「ワン・ステップ」(2年P96) ●「嵐の後に」(3年P61) ●「総菜屋のおばちゃんと私」(3年P100) ●「人はなぜ仕事をするのか」(3年P106)
生命の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●生命倫理や自らのあり方を考え合わせながら、「生命の尊厳」について考えを深める内容となっています。 ●人間だけでなく、生物の生命についても取り扱っています。生命の尊重について考えを及ぼすことができる内容を、他の観点別教材においても多数揃えています。 <p>→参照：編集の趣旨と特色P29</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■生命の尊重をテーマとした教材 →参照：編集の趣旨と特色P29 <ul style="list-style-type: none"> ●「誰かのために」(1年P128) ●「どうにかできない?～ベットの殺処分～」(1年P132) ●「ほっちゃれ」(1年P140) ●「命をつなげ『ドクターヘリ』」(2年P132) ●「語りかける目」(2年P136) ●「五つの誓い」(3年P54) ●「命をつなぐ」(3年P142) ●「不思議な光景」(3年P150)
国際貢献・国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる教材を採用しています。 ●国際交流に関わる話題を取り上げた教材を配置し、異文化理解を促す内容としています。 <p>→参照：編集の趣旨と特色P29</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■国際貢献をテーマとした教材 →参照：編集の趣旨と特色P29 <ul style="list-style-type: none"> ●「未来を創るために～マララ・ユスフザイ『国連スピーチ』」(1年P84) ●「百の診療所より、一本の用水路を～中村哲という人間の生き方～」(1年P116) ●「海と空」(1年P121) ●「小さな巨人」(2年P121) ■国際理解をテーマとした教材 →参照：編集の趣旨と特色P29 <ul style="list-style-type: none"> ●「I'm sorryの行方」(1年P69) ●「あいさつの意味」(2年P47) ●「筑前琵琶修復師～ドリアーノ・スリス～」(3年P128) ●「問題を解決するために必要なこと」(3年P132)
環境・資源	<ul style="list-style-type: none"> ●人と自然との関わり方を扱った教材を置き、自然愛護と環境保全のあり方について多面的・多角的に捉えることができます。 <p>→参照：編集の趣旨と特色P28</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■環境・資源をテーマとした教材 →参照：編集の趣旨と特色P28 <ul style="list-style-type: none"> ●「ガラスの地球を救え」(1年P136) ●「『普通』の生活の向こう側」(2年P126) ●「富士山の、消えた『白い川』」(2年P140) ●「縄文杉に会いたくて」(2年P144) ●「気候変動で私たちができること」(3年P16) ●「豊かなれ阿賀の流れよ」(3年P88) ●「森に起きていること」(3年P146)

検討の観点	特色	具体的な教材
編集上の創意工夫		
4. 教材の多様性への配慮がなされているか	<p>紙面の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生徒の興味・関心や、イメージをもって課題に向かうための素材について、漫画や動画の教材など多様な表現方法を用いています。 →参照：編集の趣旨と特色P4～5、P24～25 ●4コマ漫画は、四つの視点の扉や教材の導入部分に配置。課題に対して考えを深めていく入口として活用できます。 ●漫画教材を各学年に配置し、考えるための課題をわかりやすく示しました。 ●教材についている二次元コードから、より知識を深めるための写真や年表、プロフィールなどの情報を見ることができます。 ●動画教材によって、身近にありがちな課題を取り上げ、そこから考えを深めていけるように工夫しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■4コマ漫画 <ul style="list-style-type: none"> ●「A 自分自身と向き合う」(各学年) ●「B 人とのかかわり」(各学年) ●「C 集団や社会とのかかわり」(各学年) ●「D 自然や崇高なものとのかかわり」(各学年) ●4ページずつ配置 <ul style="list-style-type: none"> ●「席を譲ってはいけませんか?」(1年P65) ●「誰のためにするのだろう」(1年P92) ●「どうにかできない?～ベットの殺処分～」(1年P132) ●「人はなぜ仕事をするのか」(3年P106) ■漫画教材 <ul style="list-style-type: none"> ●「情報の光と闇～ファクトチェック～」(1年P32) ●「仏の銀蔵」(1年P78) ●「『用具係』、動くか」(2年P107) ●「問題を解決するために必要なこと」(3年P132) ■二次元コードからの情報 <ul style="list-style-type: none"> ●「人生と心の在り方～稲森和夫～」(1年P28) ●「情報の光と闇～ファクトチェック～」(1年P32) など多数 ●「ネパールのビール」(1年P148) ■動画教材 <ul style="list-style-type: none"> ●「伝統のケーキ」(2年P119) ■導入動画のある教材 <ul style="list-style-type: none"> ●「稲村さんの苦悩」(1年P8) ●「主権者である私」(2年P88) ●「『わたしたち』としてウェルビーイングをつくりあう」(3年P92)
	<p>題材・話題の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●道徳的価値に迫るためのテーマや話題を、さまざまな分野や業績を残した人物が直面した葛藤などに求めており、社会的・文化的な多様性、多面性を意識した秀でた教材が数多く選定されています。 →参照：編集の趣旨と特色P34～35 	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツに関わる人物やテーマ <ul style="list-style-type: none"> ●「オレは最強だ!」国枝慎吾・テニスプレーヤー (1年P22) ●「行為に込められた思い」2022年FIFAワールドカップ等 (1年P48) ●「全日本柔道チームTOKYO2020の挑戦」井上康生・柔道家 (2年P24) ●「ナイスジャンプ」スキージャンプ (2年P40) ●「二人の剣士」剣道 (2年P148) ●「栄冠は君に輝く」全国高等学校野球選手権大会 (3年P28) ■文化に関わる人物やテーマ <ul style="list-style-type: none"> ●「マダム・パタフライ～森英恵～」ファッションデザイナー (1年P112) ●「日本のアニメの力」野沢雅子・声優 (2年P115) ●「外見で決めないで」副島淳・タレント (3年P71) ●「迷わず選ぶ」川島成道・バイオリニスト (3年P110) ●「VICTORY」吹奏楽 (3年P118) ●「筑前琵琶修復師～ドリアーノ・スリス～」(3年P128) ■先人の業績(伝記など) <ul style="list-style-type: none"> ●「天地と共に～二宮尊徳～」(1年P88) ●「夢桜～荻野吟子～」(2年P30) ●「心を育んだ遠友夜学校～新渡戸稲造の作った学び舎～」(2年P80) ●「領民を幸福にすることこそ」山田方谷 (3年P12) ●「加藤セチと佐藤昌介～決まっていることはない～」(3年P20) ●「自分のこの目で確かめたい～吉田松陰～」(3年P34) ●「くちなしの花と、南十字星が指した道～花田ミキ～」(3年P156)

検討の観点	特色	具体的な教材
5. 主体的・対話的な深い学び(アクティブ・ラーニング)に対応しているか	<p>発問の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教材の文末に「考えよう」「深めよう」の発問を置き、自分の考えを深めていけるようにしています。また、アクティブラーニングに資するために、多くの発問で「話し合ってみよう」と対話を促しています。 <p>ガイダンスの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各学年の冒頭に「クラスのみならず『道徳授業』を創り出そう」の単元を設け、一年間のスタートにあたって、学びの目標と目的意識をもって授業に向かう態度形成ができるよう工夫しています。 →参照：編集の趣旨と特色P34～35 <p>ウェルビーイングカードの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●巻末の「ウェルビーイングカード」を活用し、自分の意見を伝えやすく、またクラスメートとカードを見せ合うことで、対話しやすい環境をつくりやすくなっています。 →参照：編集の趣旨と特色P10～17 	<ul style="list-style-type: none"> ■ワーク教材を除くすべての教材 ●各学年の冒頭に「ガイダンス」ページを設置
構成・配列・分量		
6. 構成・分量・配列における工夫や配慮	<p>年間の授業時数に配慮した工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各学年とも、年間35時間(ガイダンス+34教材)の道徳授業時数を保証する教材数で構成されています。 <p>教材の配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各学校の年間指導計画に拠ったカリキュラム編成がしやすいように、視点別内容項目順に教材配列をしています。 →参照：編集の趣旨と特色P18～19 ●目次は、視点別内容項目順のほかに、「いじめ・人権」「キャリア形成」などのテーマ別目次も用意しています。 ●本教科書では、各学校のカリキュラム編成に対応した教材の並び替えを推奨しています。 ●各内容項目の学びは、学年を追って深まっていくように、教材、発問ともに吟味して編集されています。 <p>付録の扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全学年の巻末付録として「私たちの郷土」3ページを掲載しており、郷土の自然や文化、人物を取り上げた学習ができるようになっています。 ●全学年の巻末付録として、切り取って使える「ウェルビーイング(Wellbeing)カード」(厚紙仕様)を掲載。授業に際しては、この「ウェルビーイングカード」が活用できます。 →参照：編集の趣旨と特色P10～17 <p>一教材あたりの構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各教材末に発問「考えよう」「深めよう」を設けることにより、教材の読み取りだけで終わることのない工夫をしています。 <p>一教材あたりの分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ●話し合ったり考え合ったりする時間が確保できるよう、1教材あたり4ページを基準としています。 	
文字・印刷・造本		
7. 文字の見やすさに対する配慮はなされているか	<p>フォント・色彩</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教科書本文など、全ページにわたりUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用し、視認性に対する配慮をしています。 ●カラーユニバーサル観点から、色使いやマーク類などの用い方に配慮をしています。" 	
8. 印刷の配慮はされているか	<p>印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境に配慮した用紙と植物性インキを用い、アレルギーにも配慮しています。 	
9. 造本の配慮	<p>判型・綴じ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●判型はAB判(ワイド判/B5判より横のサイズが約4cm長い)を採用して、縦書き、横書きともに読みやすくなっています。 ●強固な糊付けを施した無線綴じで、堅牢性と開きやすさを実現しています。 	